

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01207帯広市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
01207帯広市	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	ボランティアの人手不足により、子ども達を見守る十分な大人の数確保できず、参加できる子どもの人数に限られることにより、子ども達の体験活動の機会が減少している。	ボランティアの募集に関するチラシの作成・配布や各ボランティア団体同士が連携する取組への支援	新規ボランティア確保のため、チラシの配布、PRイベントや展示ブースの設置などのPR活動を年に2回以上行う。	ボランティアの人手が増えることにより、各団体で十分な人員を確保し、1回あたりの参加児童を増やすことで子どもたちの体験活動の機会を充実させる。	1回あたりの参加児童数	28	人	30	27	・PRイベントを2回、展示ブースを3回実施し、PRイベントでは子ども179人、保護者148人、合計327人のイベント来場者に活動を周知することができた。 ・目標とする参加児童数は全体として減少している。背景にはボランティア不足があり、見守り体制に限りがあるため、受け入れ可能な児童数が減少している。また、新規ボランティアが加わった学校は一部に偏っており、確保できず人員が不足している学校では、少人数での実施にとどまった。 ・今後、ボランティアが不足する団体については、イベント時だけでなく、PTAや保護者にチラシを配布し、十分な数のボランティア確保を目指し、1回あたりの児童数を増やしていく。